

効果的な開発協力に関するグローバルパートナーシップ 概要

平成26年2月27日

外務省開発協力企画室

I. 背景

2011年11月末に開催された「第4回援助効果向上に関するハイレベル・フォーラム（釜山HLF）」で採択された釜山成果文書において、ポスト釜山の体制として、①グローバル・パートナーシップ（GPEDC）の設立（パラグラフ36）、②モニタリング指標の設定（パラグラフ35）、の2点について合意。2012年6月のDAC援助効果作業部会およびその後の調整過程により、以下のとおり合意。

II. 効果的な開発協力のためのグローバルパートナーシップ（GPEDC）

1. GPEDCハイレベル会合

- (1) 会合目的：釜山コミットメントの進捗確認と政治レベルの説明責任担保
- (2) 参加国/機関：釜山HLFに参加したあらゆる開発主体
- (3) 開催時期：2014年4月15～16日に第1回GPEDCハイレベル会合がメキシコシティで開催予定。その後、18か月～24か月に一度に開催する予定。

○第1回ハイレベル会合のテーマ

- (1) 釜山HLFのフォローアップ
- (2) 開発のための効果的な税と国内資源動員
- (3) 開発協力における中進国の役割
- (4) 南南協力・三角協力・知識共有
- (5) 開発協力における民間セクターの役割

2. GPEDC運営委員会（ステアリング・コミティー）

- (1) 活動内容：GPEDC閣僚級会合のサブ準備（議題の設定）、他の国際/地域フォーラムとの連携・調整
- (2) 開催時期・頻度：2012年12月第1回（於パリ）、2013年3月第2回（於パリ）、同7月第3回（於アディスアベバ）、同10月第4回（於ワシントン）、2014年2月第5回（於アブジャ）
- (3) 構成（合計18：議長3、メンバー15）：

<議長>

- 英（先進国枠）：Justine Greening 英国国際開発省長官
- インドネシア（新興国枠）：Armida Alisjahbana 国家開発企画庁長官
- ナイジェリア（途上国枠）：Ngozi Okonjo-Iweala 財務大臣

<運営委員会メンバー>

- 先進国枠：米、韓、EU
- 新興国枠：ペルー
- 途上国枠：チャド、グアテマラ、バングラデシュ、サモア、東チモール
- 民間セクター枠：デンマーク産業連盟（DI）
- 議員連盟枠：列国議会同盟（IPU）
- CSO枠：開発効果のための市民社会組織パートナーシップ（CPDE）
- 開発銀行枠：世界銀行
- UNDP／UNDG枠：Ms. Fadzai Gwaradzimba UNDP 渉外・アドボカシー局長
- OECD枠：Mr. Erik Solheim OECD／DAC議長

3. GPEDC事務局

OECD/DACとUNDPが共同で事務局を務める。

III. モニタリング指標

- (1) 成果（成果枠組の活用国/機関数）
- (2) 市民社会（CSO）の関与
- (3) 民間セクターの関与
- (4) 援助の透明性（コモン・スタンダードに基づく実施）
- (5) 援助の予測性（単年および複数年の援助情報）
- (6) 援助のオンバジェット化（ディスパース予定額の年間予算書への反映）
- (7) 相互説明責任
- (8) ジェンダー（ジェンダー平等に資する公的支出の把握）
- (9) 途上国のカントリーシステムと組織の強化と活用
- (10) アンタイド化（完全アンタイドの比率）

(了)